

令和4年度 ボランティア養成講座①

令和4年 7月26日 (火)

3年ぶりに「ボランティア養成講座」が、視聴覚室と音楽室を会場に、3校6名の高校生と15名の保護者の参加のもと、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、開催されました。

開講式のあと、本校 富田篤教諭より「障がいのある子どもとのかかわりかた」と題した講義演習がありました。指先の使いずらさの体験で軍手を2枚重ねにして用紙を10枚数えるリレー競争を行いました。チーム内で声を掛け合い、体験してみて「チーム内で称賛されたり、苦勞して成功した分とても達成感を味わうことができた。」などの感想が聞かれました。

高校生と保護者とのグループトークでは、子育ての大変さやかかわり方などを高校生が質問し、具体的な生活場面について保護者が答えるなど、3グループの参加者がそれぞれに終始和やかな雰囲気の中で熱心に話し合われました。

次回の講座を楽しみにするなど、成果の多い講座でした。



【開校式の様子】



【講座の様子】



【軍手をして10枚数えられるかな？】

【グループトークの様子】



参加者の感想

高校生より

○私は福祉に興味があって参加しました。障がいについて学んで、やってあげることだけではなくその子が自分でできる環境づくりの大切さや子どもについて知ること、分かりやすく伝えるなどかかわり方が様々な方法があると分かりました。グループトークでは、保護者の気持ちを聞く良い機会になりました。

○障がいを持っている人たちに支援をしようと思っても、自分が障がいについて知らなかったら何もできないので、今回のように講座などに参加して障がいについて知り、それを生かして支援できるようにしていきたいです。

保護者からの意見を聞いて、保護者の方々がどう思っているかや実際にどんなことをしてきたのかを知ることができて良かった。

保護者より

○グループトークでは、高校生のみなさんの目指す目標に感動しました。また、他の親さんたちの子どもとのかかわりかた聞いて自分が行ってきたこと、考えてきたことが間違っていなかったと知り、安心しました。自分なりに調べていきながら子どもの成長を見守りたいです。

○講座では、知的障がいについて知ることができ感覚障がいについても体験を通して知ることができとてもいい経験でした。

グループトークではかかわり方について知ることができ将来なりたい職業に役立てたいと思いました。自分がしてもらったら嬉しいことありがたいこと相手にしようと思いました。また参加したいです。

○自分自身不器用なので手袋をはめてプリントを10枚ピッタリにできるが不安があったができて良かったです。周りと比べることが多かったので自分に自信を持つことを忘れずにいたいです。自分の今までの経験を生かして特別支援にかかわりたいです。

○講義、グループトーク共に時間が足りなくこのような機会がもっと増えればいいのかと思いました。

○高校生の学生さんが将来、福祉の仕事に就きたいと障がいをもった子どもたちを分かろうとしてくれる姿をうれしく感じました。